

2025年(令和7年)

第81号

(2月4日)

平安だより

HEIAN letter

発行所：立正佼成会 京都教会

発行責任者：渉外部長 澤村悦玄

編集委員長：渉外広報 植田恭司

〒605-0041 京都市東山区三条東町 230

TEL (075)762-2211 FAX (075)762-2266

御親教式典 ～再出発を宣言～



御親教式典が1月7日、教会法座席にて行なわれ、多くの会員が今年最初の式典に参拝しました。本部のインターネット配信と東教会長導師による読経

供養のハイブリッドな式次第で進められました。

庭野会長のご法話を拝見した後、東教会長は、私たちに『本化の菩薩たちよ』と呼びかけられたことについてふれ、法華経をあらためて解説しました。コロナ禍では「教会に来ないで」とまで言い続け、足掛け5年。自分たちの信仰を見つめ直した期間だったと振り返り、『もう一度、再出発しよう』と庭野会長が呼びかけられたと述べました。この4～5年の間にサンガの距離が出来てしまい、この距離を縮めるのに勇気がいるかもしれないが、それに取り組んでいこうと、また、この4～5年を引きずらないで前向きに生きようと、そして初心に戻り初日のごとく歩いていこうとされていると述べました。最後に、令和7年教会信行目標に定めた『仏さまと出会い サンガと語り合っ心田を耕そう』を紹介。教会の正面玄関も開放し、再出発を力強く宣言しました。

新年祭 ～戒名室で挙行、祈りを捧げた～

今年の新年祭は1月10日、八坂神社の神職のご出仕を頂き、京都教会戒名室において挙行されました。毎年行われるこの新年祭は教会の戒名室の神棚に八坂神社のお社が分社されていることにより挙行されています。今年も東教会長はじめ教会役員代表が参列し、地域社会・国家・世界の安寧を祈念し祈りを捧げました。



京都教会ビデオレター2月号 配信中 ～東教会長発～

ビデオレター2月号が京都教会のホームページで公開されています。パスワードは各支部長にご確認下さい。
<https://rkk-kyoto.jp/archive1/20250201>



左記のQRコードをスマートフォンで読んで、ご覧頂くことも出来ます。地区単位、各家庭においても視聴し、1ヶ月の修行目標とさせて頂きましょう。

令和7年、私たちは「仏さまと出会い サンガと語り合っ心田を耕そう」を実践して参ります。京都教会のホームページもご覧下さい。<https://rkk-kyoto.jp/> (右のQRコードからご覧頂けます)



京都市はたちを祝う記念式典 青年部や教会幹部が運営に寄与

京都教会青年部は1月13日、みやこめっせで行なわれた京都市はたちを祝う記念式典の場外誘導係として7名が運営のお手伝いをしました。市内のはたちを迎えた5,451人が午前と午後の2部に分かれて式典に参加する中、入退場の際に「おめでとうございます」と声をかけました。



またユース21京都のブース内では一食を捧げる運動のPRをしたほか、教会の部長・支部長・布教支援室のメンバーら約30名が姓名鑑定を行い、はたちになったばかりの若者の運勢などをみました。仕事に関することや恋愛・結婚・人間関係などについて相談し、時折、歓声や拍手が沸くなど各テーブルでは盛り上が

った様子でした。鑑定を受けた後の感想では「すごく良かった」「良かった」が約9割をしめ、中には「母や祖母に感謝の気持ちを伝えたくなった」「親身になって聞いてもらえて嬉しかった」「とてもいいアドバイスをもたらえた」など、喜んでもらえました。



ハタチを祝う会 教会青年部が実施、59回目を迎える



京都教会青年部は1月19日、ハタチを祝う会を開催し対象者3名とご家族や支部会員を中心に多くの方々が参加しました。

59回目を迎える今年のハタチを祝う会は、前年の20歳を迎えた青年が企画・運営する京都教会伝統の催しで、今回のテーマは「一期一縁～ごえんとごえんを紡ぐとき～」として「縁」を大切にしたいという思いから実施されました。式典は読経供養、誓願発表、記念品授与、教会長あいさつと続きました。読経供養では、出席はなかったものの20歳の対象者18名の名前が読み上げられました。

国会議員からの祝電披露のあと、誓願発表では「大学で心理の勉強をしており将来に役立てたい」「プログ

ラミングを勉強していて社会に役立てたい」「経営学を学んでおり世界を股にかけて活躍したい」とそれぞれ夢を語ってくれました。

東教会長はお言葉の中で、一度きりの人生多くの方々のお陰で今日があるとしながら、読経した常不軽菩薩品第二十についてふれ、常に人を軽しめず人を尊ぶ行ないをした菩薩であることを解説し、まわりに感謝しまわりの人を大切にできる人になって頂きたいと述べ、これからの新たな人生を前にしてお釈迦さまの生き方を参考にしてもらいたいと期待を込めました。また「志」という字は「土」と「心」から成り立っており、「土」は方向の意味があるとし、つまり「志」は自分の心が向かう方向であると述べ、発表された誓願を応援されました。

ハタチを祝う会の終了後、「2分の1成人式」と題して10歳になった小学生のお祝いを開催。大きくなったら何をしたいかをそれぞれが発表すると、法座席の会員からは温かい拍手が送られました。その後、東教会長は家庭教育でも言われていることとしながら幼児期から思春期に入る『10歳の壁』について解説。自我が出てくるようになることで他と比較するようになり、優越感や劣等感を味わう多感な成長期になると述べました。その中で親は、自己表現している子供の言うことをしっかり聞いてあげて欲しいこと、他と比較しているので認めて褒めてあげて欲しいこととし、親の心構えを述べ結びました。